



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.36
六甲山を楽しもう
/ 桑田 結
2006年3月発行

第36回テーマ：六甲山を楽しもう



六甲山最高峰でブナを植樹

講演内容

- ①山とともに六十余年
- ②「ブナを植える会」を支えて25年
- ③六甲山への思いは健在、これからの六甲山を考える

実施日：平成18年3月18日（土）
午後1時～3時45分
場 所：六甲山YMCA 里見ホール



講師：^{くわた}桑田 ^{むすぶ}結 さん

プロフィール

1935年生まれ、神戸市出身。関西大学法学部卒業。関西大学山岳部。1980年「ブナを植える会」設立時に入会、1998年第5代目会長に就任。

桑田さんは自然に関わる名東ね役

当日は季節はずれの小雪がちらつきました。今回は六甲山の麓で暮らして70年になる、桑田結さんを講師にお招きしました。桑田さんは「ブナを植える会」の第5代目会長で、日本山岳会の関西支部にも所属され、登山や自然環境などの東ね役として活躍されています。幼少期から現在にわたる六甲山との関わりや今後について熱く語っていただきました。



桑田さんのブナへの思いに耳を傾ける

「ブナを植える会」は環境保全の代名詞

「ブナを植える会」は、兵庫県の自然環境の保護・育成を目的として森づくりに関わっている代表的な市民団体です。会員は350名で、但馬地方や六甲山を中心にブナの植樹や育樹の活動をされています。桑田さんは設立時のメンバーで、25年間にわたる様々な活動についてご紹介いただきました。ブナは育ちにくく、成長も遅い樹木だそうです。数十年後のことを考えて植樹する息の長い活動に感心しました。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

六甲山を生かすアイデアも豊か

講演の後、恒例の焼き芋の他に、ケーキやアルコールなど沢山の差し入れをいただきました。みんなで楽しく懇親し、盛り上がりました。交流会では当会の活動報告をしました。桑田さんから六甲山上を東部・中央部・西部の3つに分けてそれぞれを楽しむ構想もお話され、六甲山を生かす議論で賑わいました。

盛りだくさんの3周年記念

平成17年度最後の市民セミナーも盛況に終わり、36回の継続開催を達成しました。新しい参加者が加わり大変充実しました。交流会で挙げたアイデアのいくつかの実現を検討し、六甲山を楽しめる環境を整備していきたいと思えます。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 平林 英二さん

セミナーにはじめて参加しました。ブナ育樹の話はもちろん大変興味深く伺いましたが、集っている皆さんが六甲山に対してそれぞれ大変熱い思いを抱かれ、大切にされていることに感銘を受けました。「神戸に住まいはじめた新しい世代が、自然散策などで六甲山の環境に気軽に親しみ、豊かさを体感して欲しい」という皆さんの願いの実現に向けて、自分も少しでもご協力差し上げたいと思えます。（人と防災未来センター 企画ディレクター）



【助成金をいただいている機関】

(財)大阪コミュニティ財団 (東洋ゴムグループ環境保護基金)、(財)ひょうご環境創造協会、コープこうべ環境基金、灘区役所「地域力を高める」事業助成